

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【公表番号】特表 2018-524474 (P2018-524474A)

【公表日】平成 30 年 8 月 30 日 (2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2018-033

【出願番号】特願 2018-501871 (P2018-501871)

【国際特許分類】

C 2 1 D 9/46 (2006.01)

C 2 1 D 8/02 (2006.01)

【F I】

C 2 1 D 9/46 G

C 2 1 D 8/02 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 4 日 (2019.9.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 8】

実施例 7

実施例 3、4、および 5 における二重相 980 降伏力データは図 3 でマイクロメートルで計算された拡散距離  $x$  の機能として表示される。図 3 および上記の拡散方程式を使って、加熱処理は促進され、DP 980 の理想的な降伏力を有する調質物を生成するだろう。例えば、もし 800 Mpa 降伏力を有する調質された DP 980 生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏  $x$  が約 1 マイクロメートルであるように選択され得る。他の実施例では、もし 950 Mpa 降伏力を有する調質された DP 980 生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏  $x$  が 100 マイクロメートル未満、または  $x$  が 10 マイクロメートル未満であるように選択され得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 9】

実施例 8

実施例 2 における二重相 980 降伏力データは、図 4 においてマイクロメートルで計算された拡散距離  $x$  の機能として表示される。図 4 および上記の拡散方程式を使って、加熱処理は促進され、DP 780 の理想的な降伏力を有する調質物を生成するだろう。例えば、もし 600 Mpa またはそれより低い降伏力を有する調質された DP 780 生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏  $x$  が 90 マイクロメートル未満であるように選択され得る。他の実施例では、もし 720 Mpa 降伏力を有する調質された DP 780 生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは 110 マイクロメートル未満であるように選択され得る。